

# 修郎先生の事件簿

小池雄一

～就労ビザ専門会社の現場から～

佐生修郎(さしゅう・しゅうろう)は就労ビザ専門会社で働くコンサルタント。その幅広い知識と長年の現場経験、それに深い洞察に基づきさまざまなアドバイスを行い、数々の困りごとを解決してきた。座右の銘は「真面目に不真面目」。

鈴木一郎 大変だ、大変だ、岩隈君が到着ビザ(VOA)で入国した時、代金を36米ドル支払われたよ。でも領収証は35米ドル。1米ドルをポッタクられたのかなあ? 佐生修郎 このポッタクリはそんなにせこくないよ。鈴木 ええっ、じゃあポッタクリでなければ一体何なのさ。佐生 ビザ代金の改定だ。

2019年4月18日付で「インドネシア政府規定19年第28号」が制定され、その中にビザ関係費用の改訂料金表(タリフ)が載っているのだ。鈴木 新しいVOA代金はいくらになったの? 佐生 50万ルピアだ。今までは35米ドルだったけど、今回はルピア建てになった。

か。佐生 その通り。50万ルピアを換算レート1万4千ルピアで割ってみたら35・7米ドル。これを丸めて36米ドル。鈴木 これを請求されたのだ。岩隈君は35米ドルの領収証だ

佐生 そうだ。だから、端数が1米ドル札は少し準備しておく必要があると思うね。鈴木 領収証はちゃんと36米ドルを出して欲しいよね。岩隈君は35米ドルの領収証だ

佐生 できるよ。でも、先日、入国審査カウンターで1万円と請求された支払った事例が報告されている。これはかかるべきレートを過ぎて当局に抗議してもらわなければならぬ。鈴木 あれ? でも、V

VOAは「入国審査カウンター」ではなく「VOA購入カウンター」で買うのだから。佐生 その通り。入国審査カウンターに進む前にVOA購入カウンターで購入する。そうすればポッタクられる確率はかなり減るぞ。 ※本連載は、実際に起きた事例を参考に、インドネシアに滞在、就労する上で気を付ける点について説明するもので、登場人物や事象はフィクションです。実際の事案に対応する場合は、専門家に相談の上、各自のご判断でご検討ください。

## 到着ビザ代が変わった!?

鈴木 じゃあ、換算レートで支払おうとすると為替レートの影響を受けるじゃない、また変動するよね。 佐生修郎 心得の条

一 VOA代金が変わり、50万ルピアになった。米ドルで支払おうとすると為替レートの影響を受けるので注意。

二 VOAは「入国審査カウンター」へ進む前に「VOA購入カウンター」で購入すること。その方が不当な金額を要求されにくくなる。

だったんだ。だから社内精算で困っていたよ。 佐生 新タリフ制定が4月18日。現場適用が5月3日だから新しい金額の領収証の印

こいけ・ゆういち FPCインドネシア代表取締役。89年学習院大卒、日本アイ・ピー・エム入社。フジスタツフへ転職後インドネシアでの事業開発を手掛ける。帰国後に独立。「夢ある街のたいやき屋さん」FC経営を経て、12年8月より現職。栃木県生まれ。53歳。

「修郎先生の事件簿」は、原則毎月第1水曜に掲載しますが、6月第1週が休刊のため、繰り上げました。